DW-Scan III Service

C842 KIT

Version 1.0

取扱説明書

Rev1.3

始めに

このたびは、DW-Scan III Service C842 KIT をご使用 購入いただき、誠にありがとうございます。

● この「 取扱説明書」は、DW-Scan III Service C842 KIT の操作方法について記載してあります。

● DW-Scan III Service の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、この「 取扱説明書 」を最後までお読みください。

● お読みになった後は、大切に保管してください。

● 機械をご使用中、不明な点がありましたら、この「取扱説明書」をご利用ください。

本書の内容は、「DW-Scan III Service version 2.0 または 2.1」の取り扱いと操作について、ご理解いただいていることを前提に記述されています。
DW-Scan III Service version 2.0 または 2.1 の取り扱いと操作で不明な点は、次の説明書を参照してください。
・「DW-Scan III Service version 2.0 取扱説明書」
・「DW-Scan III Service version 2.1 取扱説明書」

本書の内容は、DocuScan C1500 / DocuWide 6055 / DocuWide C842 / GrandRIP+ の取り扱いと操作について、ご理解いただいていることを前提に記述されています。
DocuScan C1500 / DocuWide 6055 / DocuWide C842 / GrandRIP+ の取り扱いと操作で不明な点は次の説明書を参照してください。
・「DocuScan C1500 取扱説明書」
・「DocuWide 6055 取扱説明書」
・「DocuWide C842 取扱説明書」
・「GrandRIP+ Reference Manual」

本書の記載事項は、事前通知無しに変更される場合も有りますので、予め ご了承ください。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告無しに変更することがあります。
③ 本書の内容は万全を期して作成していますが、万一ご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
④ お客様が機器を運用された結果につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承ください。

Windows®8.1 , Windows®8 , Windows®7 , Windows Vista(TM) , Windows®Server 2003 R2 , Windows® Server 2008 R2 は Microsoft® 社の登録商標です。

目次

第 1 章 概要

1.1 C842 KIT とは 2
1.1.1 主な機能 2
1.2 接続構成 3
1.2.1 必要な機器 3

第 2 章 インストール

2.1 インストールの方法 8
2.1.1 インストール 8
2.1.2 コントロールパネルからアンインストールする方法 10
2.1.3 インストール CD からアンインストールする 12

第 3 章 操作方法

3.1 キャリブレーションウィザード 16
3.1.1 手順 16
3.1.2 テストチャートの印刷 17
3.1.3 テストチャートの読み取り 18
3.1.4 カラープロファイルの保存 20
3.2 カラープロファイル管理 21
3.2.1 カラープロファイル管理 21
3.3 シンプルカラーコピー設定 23
3.3.1 シンプルカラーコピー設定 23
3.4 シンプルカラーコピー 27
3.4.1 読み取り設定 27
3.4.2 手順 33
3.4.3 プレビュー 35
3.4.4 ログリスト 37
3.5 プリント 39
3.5.1 保存した画像ファイルをシンプルカラーコピーする 39
3.5.2 LPR プリント 40
3.6 環境設定 42
3.6.1 シンプルカラーコピーの環境設定 42

第 4 章 エラーメッセージ

4.1 エラーメッセージ一覧.....46
4.1.1 インストール..... 46
4.1.2 キャリブレーションウィザード..... 46
4.1.3 カラープロファイル..... 48
4.1.4 シンプルカラーコピー..... 50

第 5 章 注意 / 制限事項

5.1 注意 / 制限事項 52
5.1.1 MS-DOS デバイス名..... 52
5.1.2 「DW-Scan III Service」のバージョンについて 52
5.1.3 DocuWide C842 への印刷..... 52
5.1.4 保存したファイルの印刷..... 52
5.1.5 カラーマネジメントが適用される場合 53
5.1.6 LPR プリントと Hot Folder..... 54

第 1 章 概要

1.1　C842 KIT とは
1.2　接続構成

1.1 C842 KIT とは

DW-Scan III Service に、C842 KIT オプションを追加することで、広幅カラープリンタ (DocuWide C842) とカラースキャナ機器 (DocuScan C1500 / DocuWide 6055) と RIP SW(GrandRIP+) との組み合わせにより、簡易的なカラーコピーシステムを構築します。

1.1.1 主な機能

■ カラーキャリブレーション機能

C842 KIT に内蔵されたキャリブレーション用チャートを DocuWide C842 から印刷し、印刷したチャートをカラースキャナ機器でスキャンすることで、スキャナとプリンタ間でカラーキャリブレーションを実施します。
キャリブレーションは、次の用紙の種類ごとに実施します。

- 普通紙
- 光沢紙
- マットコート紙

実施したキャリブレーション結果は、カラープロファイルとして用紙種類と共に保存できます。
また同じ用紙種類でも異なる設定として、複数の設定が保存できます。

■ シンプルカラーコピー機能

用紙別に作成したカラーキャリブレーションによって適切な色補正が行われ、簡単に DocuWide C842 にプリントすることができます。プリントと同時にイメージデータを保存することもできます。
プリントには RIP SW(GrandRIP+) が必要です。GrandRIP+ の Hot Folder へデータを転送することで簡易コピーができます。プリント時に、カラープロファイルを適用する / しないを設定することができます。

1.2 接続構成

シンプルカラーコピーを行うために必要な構成を以下に記述します。

1.2.1 必要な機器

■ スキャナ　DocuScan C1500 / DocuWide 6055

■ 広幅カラープリンター　DocuWide C842

■ プロットサーバー　RIP SW(GrandRIP+)

※詳細は、GrandRIP+ Reference Manual を参照して下さい。

■ CPU　DOS/V 機（NEC の NX シリーズ除く）

Core2Duo 以上 推奨

※ 1　page 6 を参照して下さい。

■ メモリ　4GB 以上

■ USB　USB2.0 インターフェース

※ 2　page 6 を参照して下さい。

■ ハードディスク　500MB 以上の空きがあること

■ ディスプレイ　VGA 以上（1024x768 以上の解像度）

■ OS　64bit OS

※ 3　page 6 を参照して下さい。

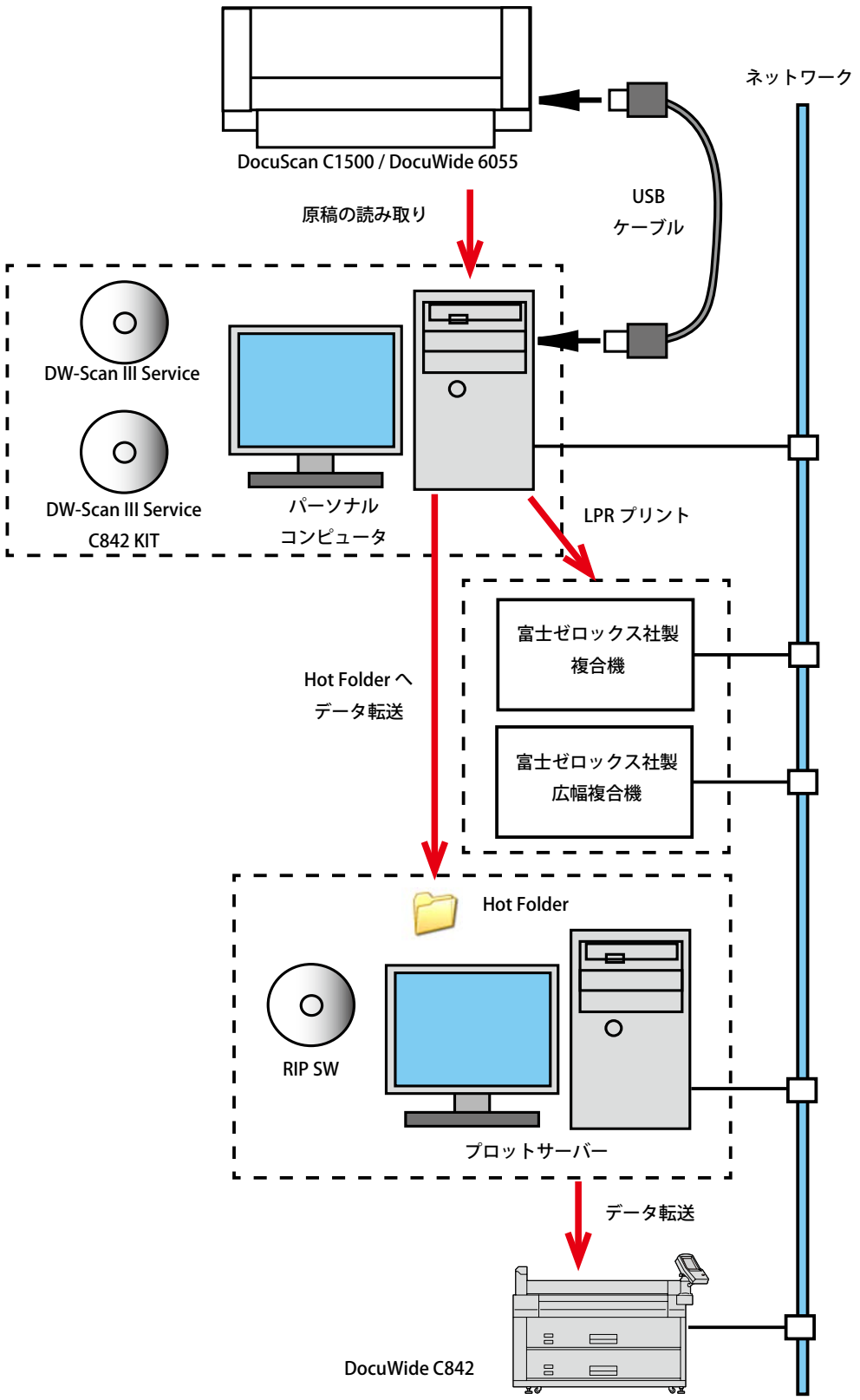
■ DW-Scan III Service アプリケーションプログラム

・DW-Scan III Service Ver.2.0 または Ver.2.1

・DW-Scan III Service C842 KIT Ver.1.0

■ DocuWorks アプリケーションプログラム (バージョン 6.0 以上)

(※ XDW 形式のファイルを扱う場合のみ必要)


ネットワーク
DocuScan C1500 / DocuWide 6055
原稿の読み取り
USB
ケーブル
DW-Scan III Service
DW-Scan III Service
C842 KIT
パーソナル
コンピュータ
LPR プリント
富士ゼロックス社製
複合機
富士ゼロックス社製
広幅複合機
Hot Folder へ
データ転送
Hot Folder
RIP SW
プロットサーバー
データ転送
DocuWide C842

※ 1 Microsoft 社の推奨システム要件を満たすシステムで運用して下さい。
Microsoft 社 Hardware CompatibilityList (HCL) に 登録されている PC 以外での動作は保証出来ません。

※ 2 USB2.0 規格に対応した長さ 5m 以下のケーブルを使用してください。
リピーターケーブルは使用しないでください。

※ 3 対応 OS の詳細は以下の様になります。(32bit OS には対応していません。)
記載されたエディション以外には対応していません。

クライアント OS:

OS	対応
Windows Vista (SP2)	Ultimate x64 Edition Business x64 Edition
Windows 7 (SP1)	Ultimate (x64) Professional (x64) Enterprise (x64)
Windows 8 / Windows 8.1	Pro (x64)

サーバ OS:

OS	対応
Windows Server 2003 R2 (SP2)	Standard x64 Edition
Windows Server 2008 R2 (SP1)	Standard Edition

第 2 章 インストール

2.1　インストールの方法

2.1 インストールの方法

※ インストール作業は、システム管理者 (Administrator) の権限を持つユーザーでログインして行ってください。

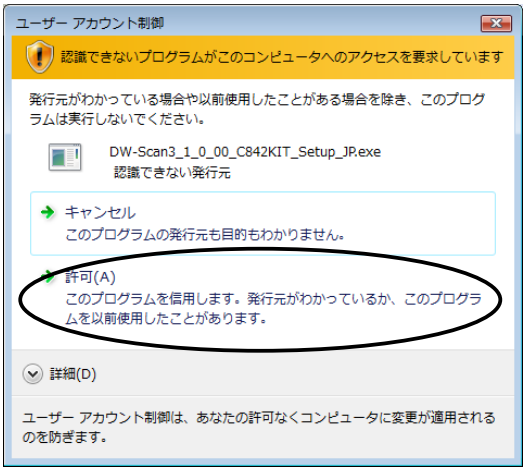
※ DW-Scan III Service Ver.2.0 または Ver.2.1 を先にインストールしてください。

2.1.1 インストール

(1) インストールするパーソナルコンピュータに、システム管理者の権限でログインします。

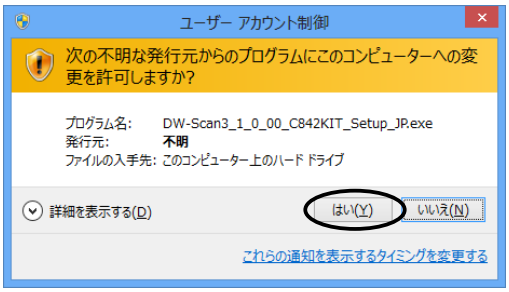
(2) インストール CD を CD ドライブに挿入し、“CD-ROM”を開いてディスクの内容を表示させます。

(3) DW-Scan3_1_0_00_C842KIT_Setup_JP をダブルクリックしてインストールプログラムを起動します。



(4) Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 の場合、ユーザーアカウント制御の確認ダイアログが表示されます。

・Windows Vista の場合、「許可 (A)」を選択してください。



・Windows 7/ Windows 8 / Windows 8.1 の場合、「はい (Y)」を選択してください。

(5) セットアップが始まります。
「次へ (N)」ボタンをクリックします。

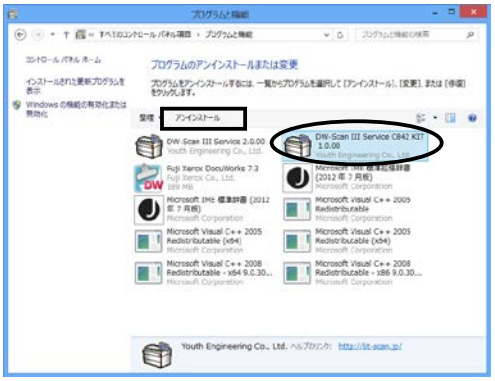
(6) 保証規定が表示されます。規定に同意されるなら、「同意する (A)」ボタンをクリックします。
DW-Scan III Service のプログラムが入っているフォルダにインストールが行なわれます。

(7) 「完了」ボタンをクリックするとインストール作業は完了します。

以上でインストールは終了しました。
DW-Scan III Service を起動すると、C842 KIT が利用できるようになります。

2.1.2 コントロールパネルからアンインストールする方法

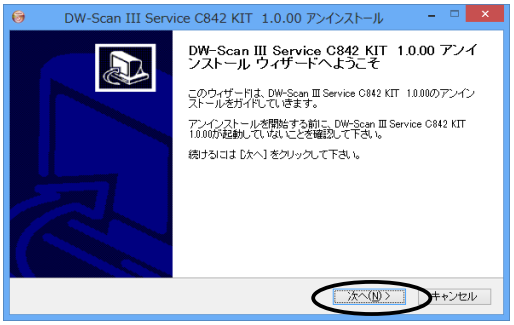
(1) コントロールパネルを開いて「プログラムのアンインストール」をダブルクリックします。



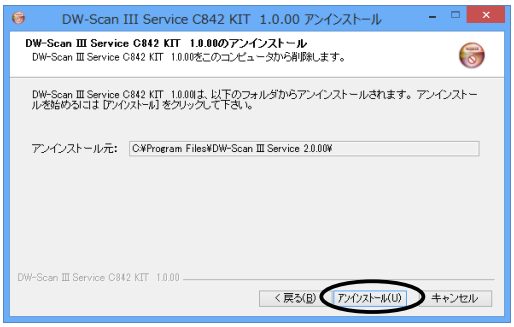
(2) 「DW-Scan III Service C842 KIT 1.0.00」を選択して「アンインストール」をクリックします。

(3) 「続行 (C)」を選択してください。

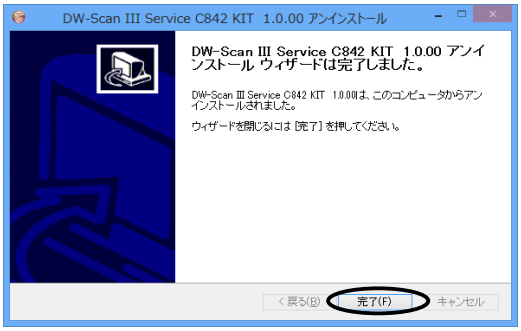
※この表示は Windows Vista のみ表示されます。



(4) DW-Scan III Service C842 KIT が起動していないことを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



(5) アンインストール確認のダイアログが表示されます。「アンインストール」ボタンをクリックするとアンインストールが開始されます。
「キャンセル」ボタンで取り消します。

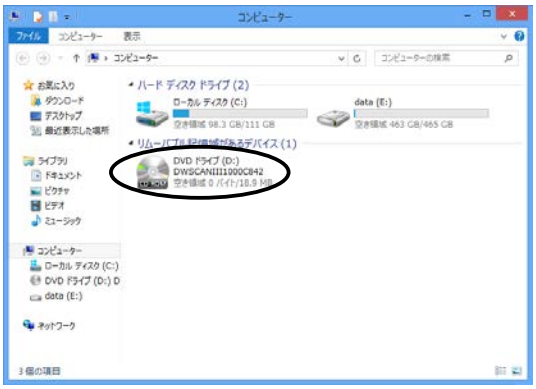


(6) アンインストール終了のダイアログが表示されたら、「完了」ボタンをクリックして終了します。

以上でアンインストールは終了しました。

Note:　C842 KIT をアンインストールしても、DW-Scan III Service の基本機能は利用することが出来ます。

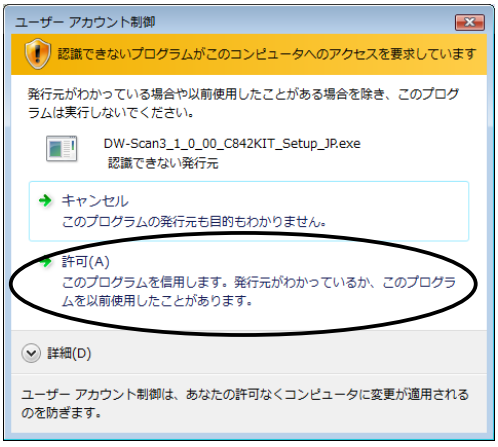
2.1.3 インストール CD からアンインストールする



(1) インストールするパーソナルコンピュータに、システム管理者の権限でログインします。

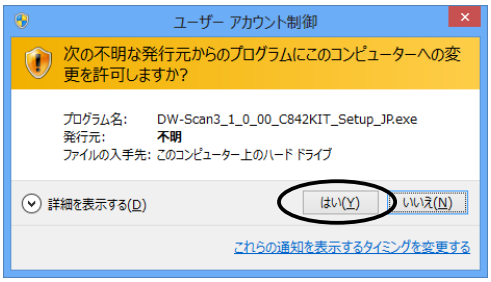
(2) インストール CD を CD ドライブに挿入し、“CD-ROM”を開いてディスクの内容を表示させます。

(3) DW-Scan3_1_0_00_C842KIT_Setup_JP をダブルクリックしてインストールプログラムを起動します。

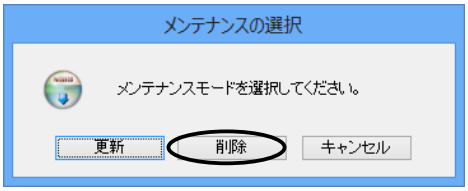


(4) Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 の場合、ユーザーアカウント制御の確認ダイアログが表示されます。

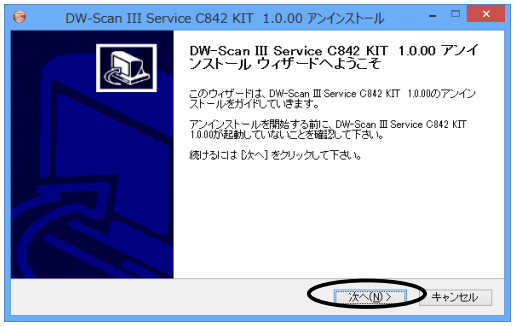
・Windows Vista の場合、「許可 (A)」を選択してください。



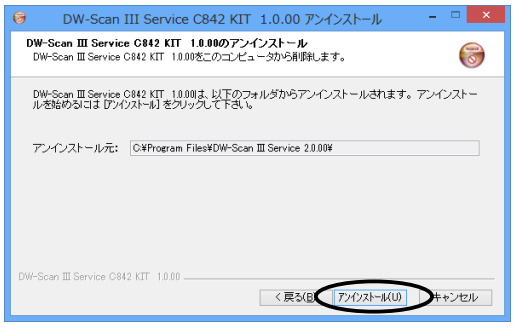
・Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 の場合、
「はい (Y)」を選択してください。



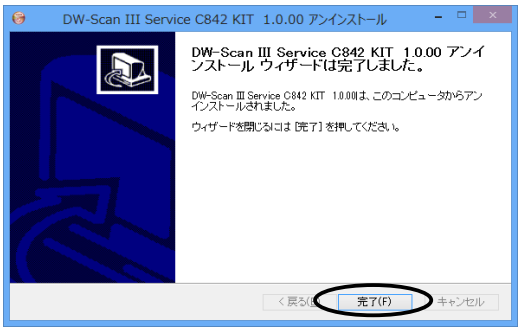
(5) 「削除」ボタンをクリックします。



(6) DW-Scan III Service C842 KIT が起動していないことを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



(7) アンインストール確認のダイアログが表示されます。「アンインストール」ボタンをクリックするとアンインストールが開始されます。
「キャンセル」ボタンで取り消します。



(8) アンインストール完了のダイアログが表示されたら「完了」ボタンをクリックして終了します。

以上でアンインストールは終了しました。

Note: C842 KIT をアンインストールしても、DW-Scan III Service の基本機能は利用することが出来ます。

第 3 章 操作方法

3.1　キャリブレーションウィザード
3.2　カラープロファイル管理
3.3　シンプルカラーコピー設定
3.4　シンプルカラーコピー
3.5　保存した画像ファイルの表示と印刷
3.6　環境設定

3.1 キャリブレーションウィザード

キャリブレーションウィザードについて記述します。

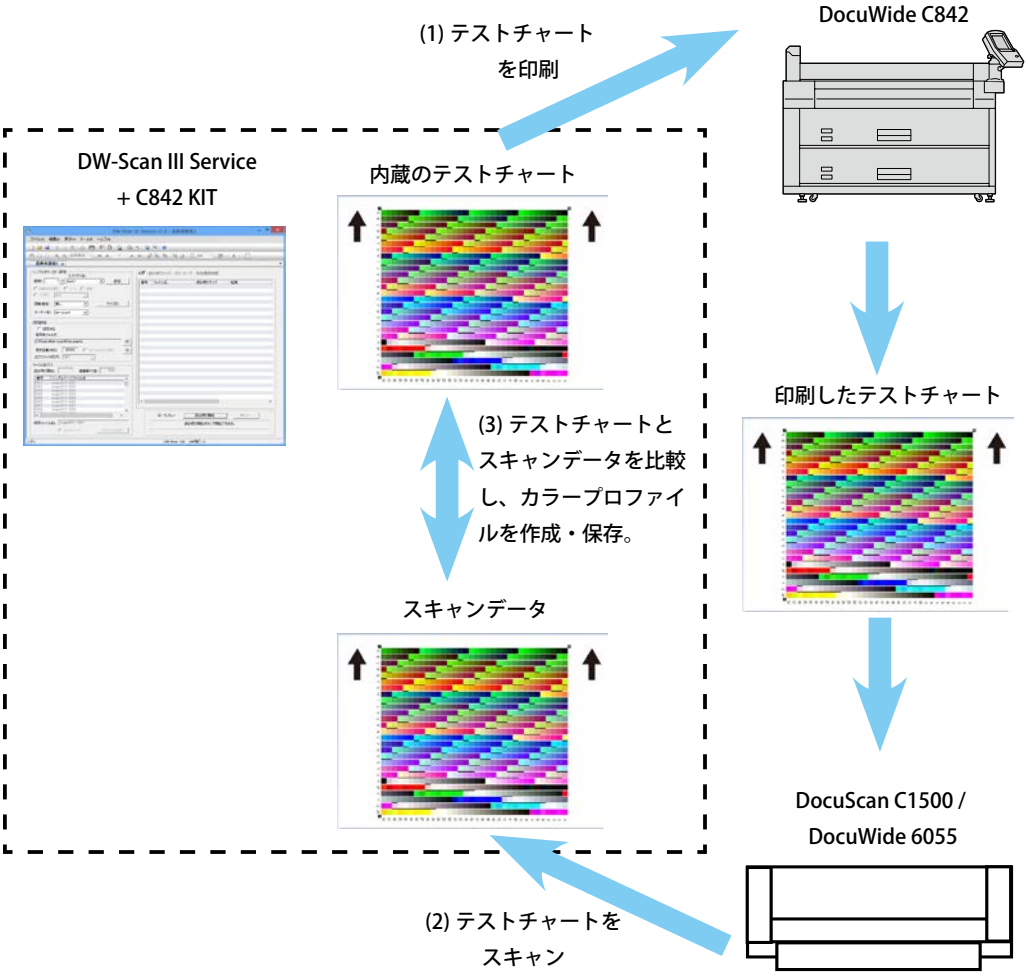
3.1.1 手順

C842 KIT により、スキャナ機器と DocuWide C842 との間で、キャリブレーションを実施するため、キャリブレーションウィザードでは次の手順で実施します。

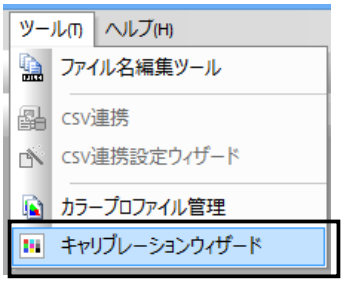
(1) C842 KIT に内蔵のテストチャートをキャリブレーションを実施する DocuWide C842 に Hot Folder 経由で印刷します。

(2) 印刷したテストチャートをスキャンします。

(3) スキャンした結果と元の内蔵テストチャートを比較することで、カラープロファイルを生成し、保存します。

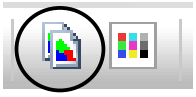


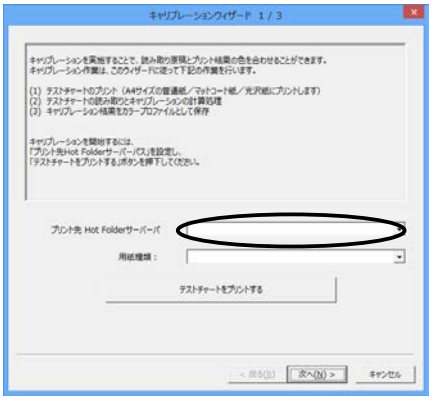
3.1.2 テストチャートの印刷



(1) ツールメニューから「キャリブレーションウィザード」を選択します。

Note：ツールバーの「キャリブレーションウィザード」ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。





(2) 「キャリブレーションウィザード 1/3」画面が表示されます。

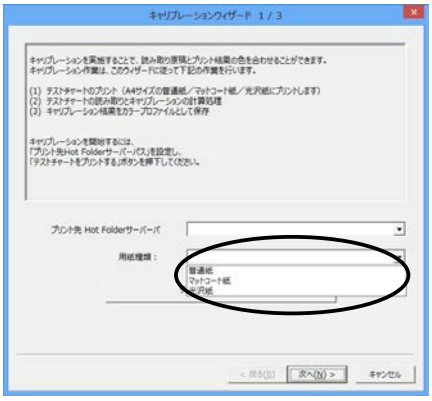
(3) 「プリント先 Hot Folder サーバーパス」にテストチャートを印刷するプリンタ用の Hot Folder パスを、絶対パスにて指定します。

Note：Hot Folder パスには次を指定して下さい。

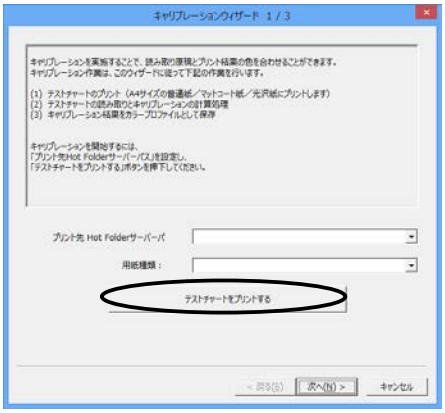
¥¥[RIP SW の IP アドレス]
¥Public¥DocuWide-C842-DWSCAN

Note：半角文字で 128 文字 (全角で 64 文字) まで入力することができます。

Note：シンプルカラーコピーで設定されている、すべての Hot Folder パスがリストに表示されます。

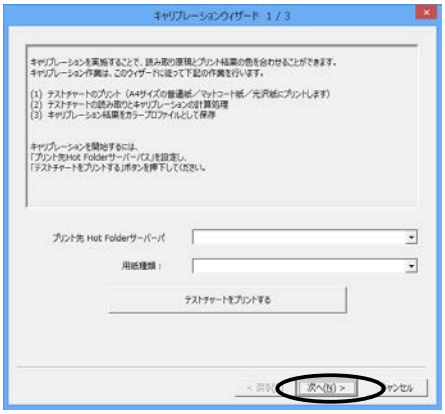


(4) 用紙種類を選択し、プリンタにキャリブレーションを実施する用紙をセットします。



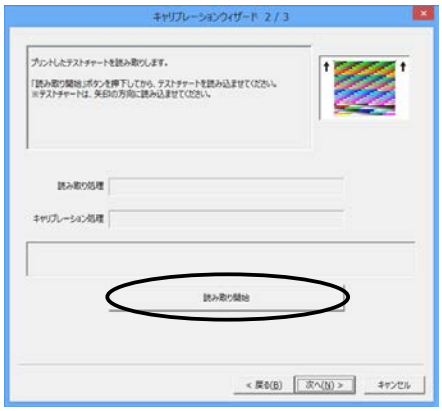
(5)「テストチャートをプリントする」ボタンをクリックします。
テストチャートが印刷されます。

Note：テストチャートのサイズは A4 横です。出力されたテストチャートの用紙サイズが A4 横でない場合、用紙を A4 横サイズにカットする必要があります。



(6) 印刷したチャートにかすれ等問題があった場合、再度、テストチャートを印刷します。
問題がなければ、「次へ」ボタンをクリックします。
「キャリブレーションウィザード 2/3」画面が表示されます。

3.1.3 テストチャートの読み取り



(1)「読み取り開始」ボタンをクリックします。スキャナ機器の準備が完了すると、ボタンは「読み取り中止」表示になります。

Note：読み取り待ちになると、「戻る」、「次へ」、「キャンセル」ボタンは無効です。テストチャートを読み取りを実施しない場合は「読み取り中止」ボタンをクリックします。

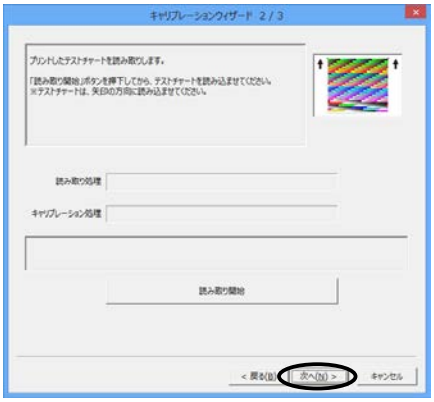
(2) スキャナ機器に、印刷したテストチャートを矢印の方向に従って挿入し、読み取りを行います。テストチャートの読み取りにより、キャリブレーション処理が実施されます。

Note：出力されたテストチャートの用紙サイズが A4 横でない場合、テストチャートの読み込みを開始する前に、用紙を A4 横サイズにカットする必要があります。

Note：キャリブレーション処理には、しばらく時間がかかります。
キャリブレーション処理中は、「読み取り中止」、「戻る」、「次へ」、「キャンセル」ボタンは無効です。

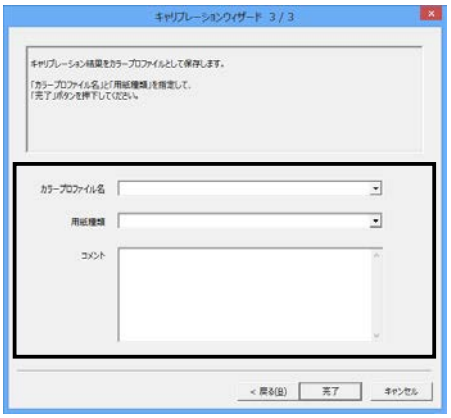
(3) キャリブレーション処理が終了すると、「読み取り中止」ボタンは「読み取り開始」表示となります。

Note：「読み取り開始」により、再度キャリブレーション処理を実行すると、キャリブレーション結果は上書きされます。



(4)「次へ」ボタンをクリックします。
「キャリブレーションウィザード 3/3」画面が表示されます。

3.1.4 カラープロファイルの保存



(1) キャリブレーションの結果をカラープロファイルとして保存します。
カラープロファイル名、用紙種類、コメントを入力します。

カラープロファイル名：

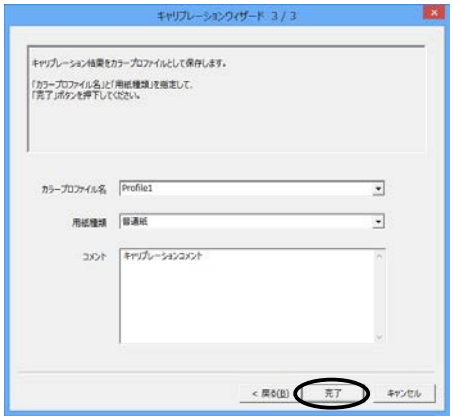
任意のカラープロファイル名を指定します。
半角文字で 63 文字 (全角で 31 文字) まで記入することができます。
ファイル名に使用できない文字を指定できません。
既存のカラープロファイル名をポップアップメニューから選択することができます。既存のカラープロファイルから選択した場合、カラープロファイルを上書きします。
新しいカラープロファイル名を入力した場合、新たに保存します。

用紙種類：

普通紙 / マットコート紙 / 光沢紙から選択します。

コメント：

自由な文字を半角文字で 127 文字 (全角で 63 文字) まで記入することができます。



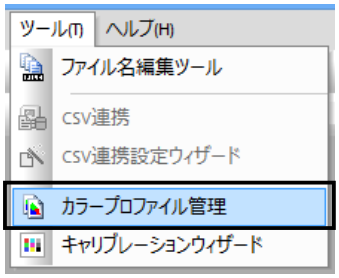
(2)「完了」ボタンをクリックします。キャリブレーションの結果をカラープロファイルとして保存し、キャリブレーションウィザードを終了します。

Note：保存したカラープロファイルの管理については、「3.2 カラープロファイル管理」を参照してください。

3.2 カラープロファイル管理

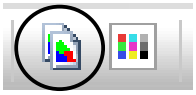
キャリブレーションウィザードで生成したカラープロファイルの管理方法について、説明します。

3.2.1 カラープロファイル管理

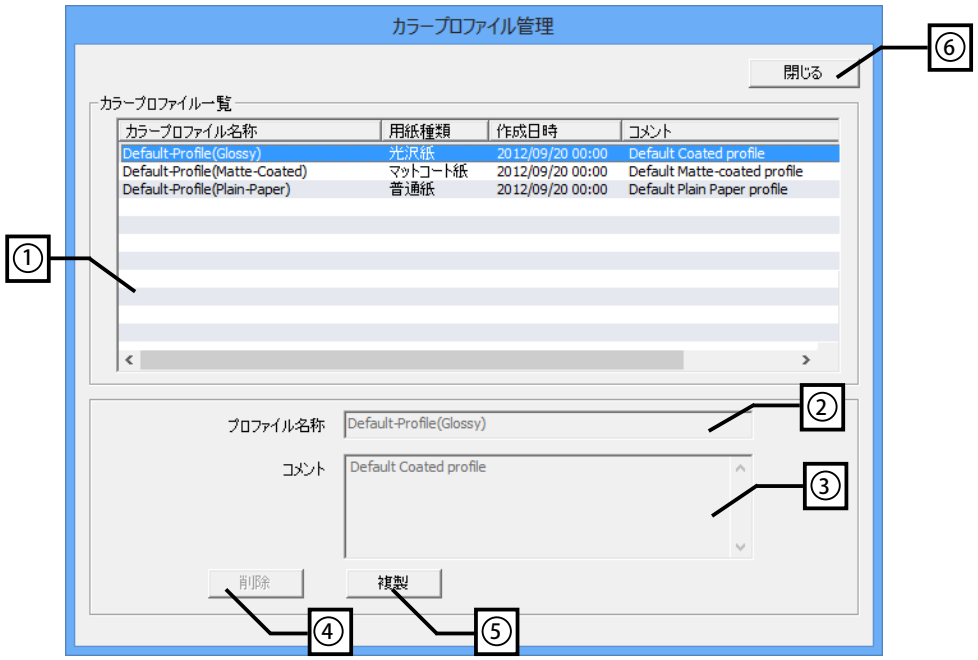


(1) ツールメニューから「カラープロファイル管理」を選択します。

Note：ツールバーの「カラープロファイル管理」ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。



(2)「カラープロファイル管理」画面が表示されます。



① カラープロファイル一覧：
現在、登録されているカラープロファイルを一覧表示します。
リストからプロファイルを選択し、編集・削除・複製することが可能です。

② プロファイル名称：
任意のカラープロファイル名を指定します。
半角文字で 63 文字 (全角で 31 文字) まで記入することができます。
ファイル名に使用できない文字を指定できません。
重複する名称は設定できません。

③ コメント：
自由な文字を半角文字で 127 文字 (全角で 63 文字) まで記入することができます。

④ 削除：
メッセージを表示し、選択したプロファイルを削除します。
「選択したカラープロファイルを削除してよろしいですか？
[はい][いいえ]」

⑤ 複製：
選択しているプロファイルの複製を作成し、一覧に追加します。
複製されたプロファイルの名称は、元のプロファイル名には「-Copy」が付加されます。

例） 複製元：「マットコート紙キャリブレーション 1」
複製後：「マットコート紙キャリブレーション 1-Copy」

⑥ 閉じる：
変更した内容を保存して、画面を閉じます。

Note: 用紙種類毎（普通紙 / マットコート紙 / 光沢紙）に、出荷時設定の既定プロファイルが存在します。
既定プロファイルは、編集・削除できません。

3.3 シンプルカラーコピー設定

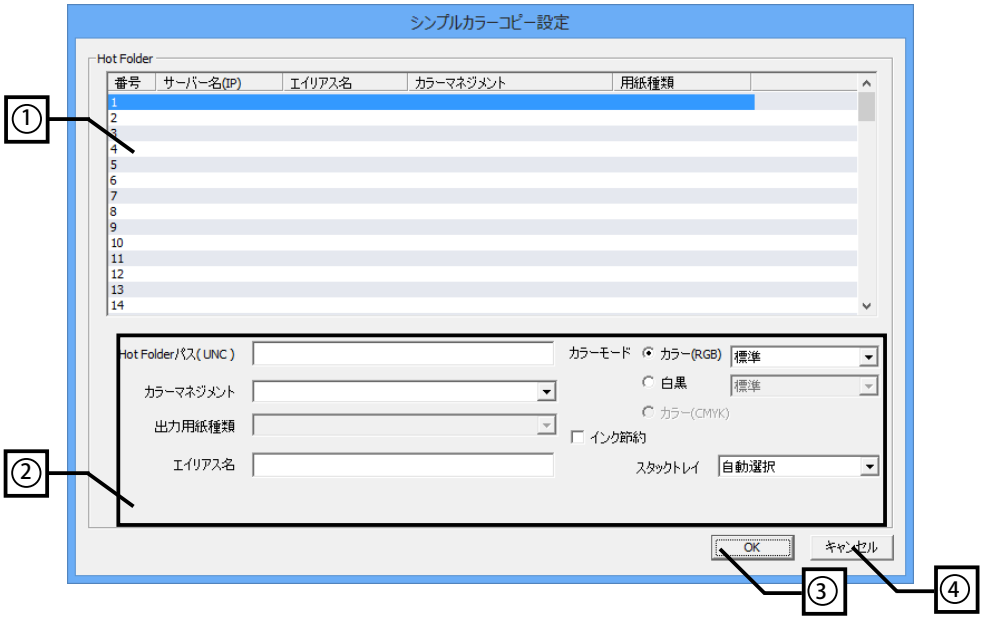
シンプルカラーコピー設定画面の設定方法について記述します。

3.3.1 シンプルカラーコピー設定

カラープロファイルと Hot Folder、用紙種類の関連を設定します。

(1)「ファイル」メニューから「シンプルカラーコピー設定」を選択します。

(2)「シンプルカラーコピー設定」画面が表示されます。



① Hot Folder 設定一覧：

Hot Folder 設定の内容を一覧表示します。

表示する内容は「番号」、「Hot Folder パス」、「エイリアス名」、「カラーマネジメント」、「出力用紙種類」です。

リストの中から変更したい Hot Folder を選択し、次の項目を設定します。

② Hot Folder 個別設定：

Hot Folder パス (UNC)：

Hot Folder 宛先の UNC サーバーパスを指定します。
半角文字で 128 文字 (全角で 64 文字) まで入力することができます。

Note:Hot Folder パスには次を指定して下さい。
¥¥[RIP SW の IP アドレス]¥Public¥DocuWide-C842-DWSCAN

カラーマネジメント：

シンプルカラーコピーにて、適用するカラープロファイルを指定します。選択できる項目は、次の通り。

- なし
- RIP SW で作成したプロファイル
- 既定プロファイル
  （出荷時既定の用紙別カラープロファイル）
- カラープロファイル名
  （カラープロファイル管理にて設定したカラープロファイル）

Note:「なし」を選択した場合、カラーマネジメントは適用されません。

Note:「RIP SW で作成したプロファイル」は、「Hot Folder パス (UNC)」を指定後に、指定した Hot Folder 内に設定ファイルがあれば、リスト選択が可能になります。

出力用紙種類：

カラーマネジメントでカラープロファイルを指定した場合、カラープロファイルで設定した用紙種類が自動的に選択され、変更することはできません。
カラーマネジメントなしの場合は以下から選択します。
「普通紙」/「マットコート紙」/
「光沢紙」/「トレーシングペーパー」/
「バックライトフィルム」/「マットフィルム」

エイリアス名：

Hot Folder を指定する際に使用する簡易名称を指定します。
半角文字で 63 文字 (全角で 31 文字) まで入力することができます。
重複する名称は設定できません。

カラーモード：

出力時のカラーモードを指定します。

カラー (RGB)/ 白黒 / カラー (CMYK) から指定します。

カラー (RGB)/ 白黒の場合、更に画質を指定します。

カラー (RGB) の場合：

標準 / デザイン / 写真 /CAD/ 色変換しない

白黒の場合：

標準 / 線画用

カラー (CMYK) の場合：

選択肢無し

Note: 白黒の場合、カラーマネジメント処理は適用されません。

Note: カラーマネジメントで「RIP SW で作成したプロファイル」が選択されている場合、選択可能なカラーモード、画質が制限される場合があります。

Note: 「カラー (CMYK)」は、カラーマネジメントで「RIP SW で作成したプロファイル」が選択されている場合のみ指定されます。

インク節約：

インク節約する / しないを指定します。

スタックトレイ：

スタックトレイの動作モードを指定します。

「自動選択」/「トレイに排出する」/「トレイに排出しない」から、指定します。

③ OK：
設定を更新し、画面を閉じます。

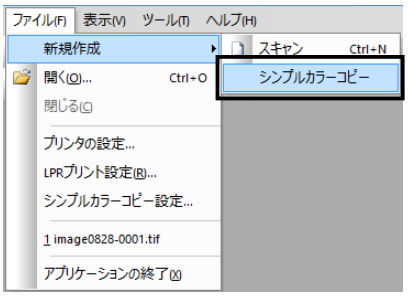
Note: カラーマネジメントに「RIP SW で作成したプロファイル」が指定されている場合、設定を更新する前に設定内容と RIP SW で作成したプロファイルが正しいかチェックが行われます。

④ キャンセル：
設定を更新せず、画面を閉じます。

3.4 シンプルカラーコピー

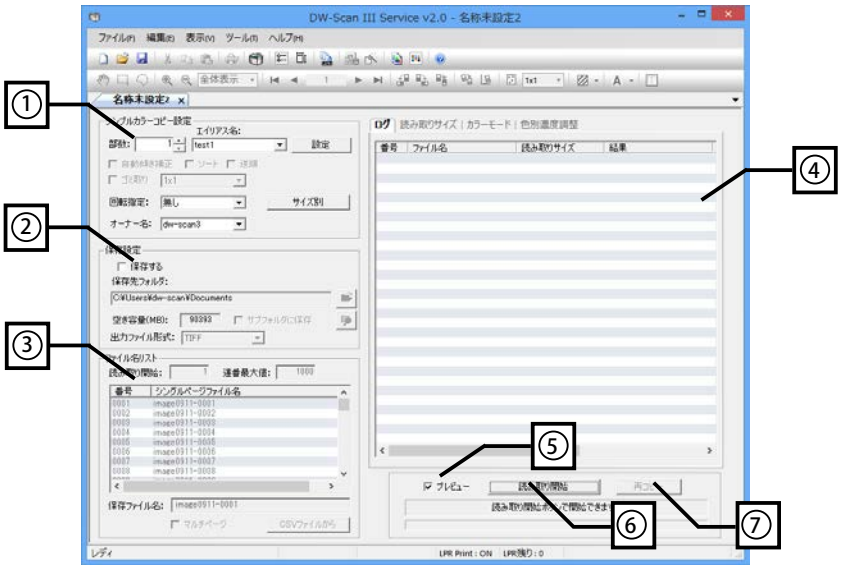
シンプルカラーコピーの原稿読み取りについて、一連の手順を説明します。

3.4.1 読み取り設定



(1) 「ファイル」メニューから「新規作成」－「シンプルカラーコピー」を選択します。

シンプルカラーコピーの読み取り設定ウィンドウが開きます。



① シンプルカラーコピー設定

部数：

プリントする部数を指定します。

エイリアス名：

シンプルカラーコピーの出力先を指定するため、エイリアス名を選択します。

リストには、「3.3.1 シンプルカラーコピー設定」で設定した Hot Folder のエイリアス名が表示されます。

設定：

「シンプルカラーコピー設定」画面を開きます。

ソート / 逆順：

複数部数プリントするときに、ソートする / しない、逆順にプリントする / しないを指定します。

・「ソート」チェックなしの場合：
ソートせず、読み取り毎に原稿をプリントします。

・「ソート」チェックありの場合：
「読み取り開始」から「読み取り中止」までに読み取った原稿を、ソートしてプリントします。

・「逆順」チェックなしの場合：
読み取り順にプリントします。

・「逆順」チェックありの場合：
「読み取り開始」から「読み取り中止」までに読み取った原稿を、読み取りとは逆順にプリントします。

Note: スキャン時のカラーモード設定が「白黒(2値)」、「白黒擬似階調(2値)」以外の場合、「ソート」、「逆順」は指定できません。

Note:「ソート」や「逆順」を指定している場合、画像データの色数が変わる画像編集（赤文字入れ、グレー文字入れ、赤網掛け、赤白変換）は行えません。

Note:「ソート」や「逆順」を指定する / しないによって、Hot Folder へ読み取ったイメージをコピーするタイミングが違います。
ソートや逆順を指定しない場合は、読み取り毎にイメージはコピーされます。
ソートや逆順を指定する場合は、すべての原稿を読み取り、「読み取り中止」を行った後、コピーされます。

Note:「読み取り開始」後は、設定変更ができません。

Note:「ソート」や「逆順」を指定していても、カラーマネジメントの設定が白黒でない場合、ソート / 逆順でコピーされません。

オーナー名：

コピー時のオーナー名を選択します。
オーナー名の登録は環境設定にて行います。詳しくは「3.6.1 シンプルカラーコピーの環境設定」を参照してください。

自動傾き補正：

チェックありの場合、傾いて読み込んだ読み取り画像をまっすぐに補正します。

ゴミ取り：

チェックありの場合、読み取り画像から粒状のゴミを除去します。
ゴミ取りのサイズを指定することができます。

Note: 自動傾き補正、ゴミ取りはカラーモードが白黒 (2 値) または白黒擬似階調の場合、有効です。

回転指定：

原稿を回転して保存します。

サイズ別：

「サイズ別回転指定」ダイアログが表示されます。
サイズ毎に回転を指定することができます。

Note: 自動傾き補正 / ゴミ取り / 回転指定 / サイズ別の詳細は、「DW-Scan III Service の取扱説明書」を参照してください。

② 保存設定

保存する：

チェックありの場合、コピーと同時に読み取ったイメージをファイルに保存します。また、以下のコントロールは有効です。

- 保存先フォルダ
- サブフォルダに保存
- 出力ファイル形式
- [ファイル名リスト] グループの全て

チェックなしの場合、読み取ったイメージはファイルに保存しません。
また、前述のコントロールは無効です。

Note:「保存する」チェックありの場合、従来の読み取りと同様に環境設定の内容に応じてファイルを生成します。

保存先フォルダ：

読み取ったイメージを保存するフォルダを指定します。

保存先フォルダを指定します。

保存先フォルダをエクスプローラで表示します。

サブフォルダに保存：

読み取り毎に、保存先に指定したフォルダの中に新たなフォルダを作成して、そこに読み取りイメージを保存します。
作成されるフォルダの名前は、「設定ファイル名」+「月日時分秒」の形式になります。

出力ファイル形式：

保存するファイルの種類を TIFF、PDF、JPEG、XDW から指定します。

Note: DocuWorks が設置されていない場合は TIFF/PDF/JPEG の選択となり、XDW は表示されません。

Note:XDW 形式の場合、DocuWorks のバージョンによって、赤黒画像として保存できません。詳しくは、「DW-Scan III Service の取扱説明書」を参照してください。

Note: JPEG 形式の場合、カラーモードをグレースケールまたはフルカラーにする必要があります。また、マルチページで保存できません。

③ ファイル名リスト

保存設定の「保存する」チェックありの場合、有効です。
読み取り毎の保存ファイル名を指定します。
シングルページで保存するか、マルチページで保存するか選択できます。
ファイル名を CSV ファイルから読み込む場合は「CSV ファイルから」ボタンをクリックします。
詳しくは別冊の「DW-Scan III Service の取扱説明書」を参照してください。

④ ログ / 読み取りサイズ / カラーモード / 色別濃度調整

ログ：

読み取りの結果が表示されます。
詳しくは「3.4.4 ログリスト」を参照してください。

読み取りサイズ / カラーモード / 色別濃度調整：

詳細設定パネル (読み取りサイズ / カラーモード / 色別濃度調整) では、詳細な読み取り設定を行うことができます。
詳しくは別冊の「DW-Scan III Service の取扱説明書」を参照してください。

⑤ プレビュー

読み取った原稿をシンプルカラーコピーする前に画像を表示して確認するかどうかを指定します。

「プレビュー」チェックありの場合は、プレビューウィンドウを表示します。プレビューウィンドウでは、画像を編集することができます。また、再度原稿を読み取らずに、詳細設定の内容を変更したイメージを読み取ることができます。
詳しくは、次節「3.4.3 プレビュー」を参照してください。

「プレビュー」チェックなしの場合は、プレビューウィンドウを表示せず、読み取ったイメージを指定の Hot Folder へコピーします。

Note: 読み取った原稿のイメージを、指定の Hot Folder へコピーするタイミングは、ソートや逆順の指定によっても異なります。
ソートや逆順をしない場合は、読み取り毎にイメージはコピーされます。
ソートや逆順をする場合は、すべての原稿を読み取り、「読み取り中止」を行った後、コピーされます。

⑥ 読み取り開始 / 読み取り中止

「読み取り開始」ボタンにて、指定された設定で読み取りを開始します。読み取り中、ボタンの表示は「読み取り中止」になります。

「読み取り中止」ボタンにて、読み取りを中止します。ボタンの表示は「読み取り開始」になります。

Note: ソートや逆順を指定していた場合、「読み取り中止」ボタンによって、一括して指定の Hot Folder へコピーします。

⑦ 再コピー

再コピー時に変更可能な設定は次の通りです。

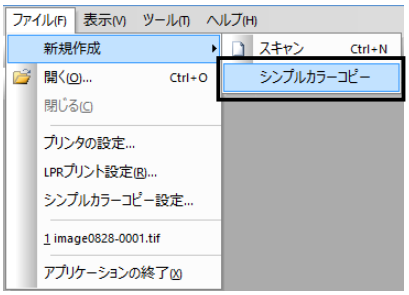
・部数
・カラーマネジメント (Hot Folder エイリアス名で指定)

読み取り中はボタンは無効になります。
また、読み取り開始後、1 度も原稿読み取りによるシンプルカラーコピーを行っていない場合、再コピー可能なデータがないため、ボタンは無効になります。

Note: 「再コピー」は、一度プリントしたものを、カラーマネジメントを変えたり、プリントする部数を変えてプリントし直すためのものです。
また「再コピー」では、保存済みのファイルは更新されません。(「保存する」チェックありの場合)

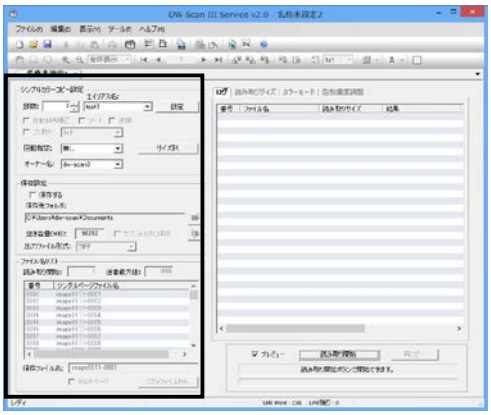
Note: シンプルカラーコピーの読み取り設定は、「標準設定として保存」できます。(通常のスキャン読み取り設定とは別に扱われます。)

3.4.2 手順



(1) 「ファイル」メニューから「新規作成」－「シンプルカラーコピー」を選択します。

シンプルカラーコピーの読み取り設定ウィンドウが開きます。

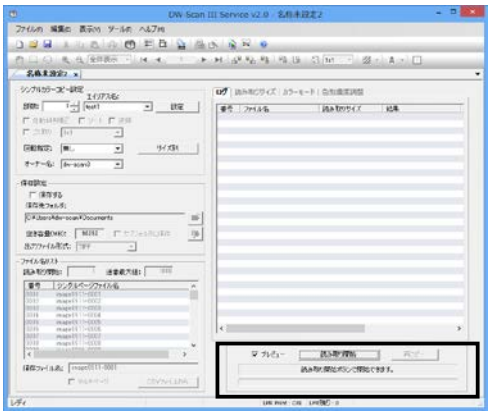


(2) シンプルカラーコピー設定を設定します。
必要に応じて、保存設定、ファイル名リストを設定します。

Note: 詳しくは「3.4.1 読み取り設定」を参照してください。

(3) 読み取りサイズ、カラーモード、色別濃度調整を必要に応じて、設定します。

Note: 設定方法については、詳しくは「DW-Scan III Service の取扱説明書」を参照してください。



(4) 原稿の読み取り後、保存する前に画像を表示して確認したい場合は、「プレビュー」をチェックしてください。

「読み取り開始」ボタンをクリックし、読み取りを開始します。
スキャナ機器に原稿を読み込ませます。

「プレビュー」チェックありの場合は、次節「3.4.3 プレビュー」を参照してください。

「プレビュー」チェックなしの場合は、読み取ったイメージをシンプルカラーコピー設定に従い、指定のプリンターにコピーします。

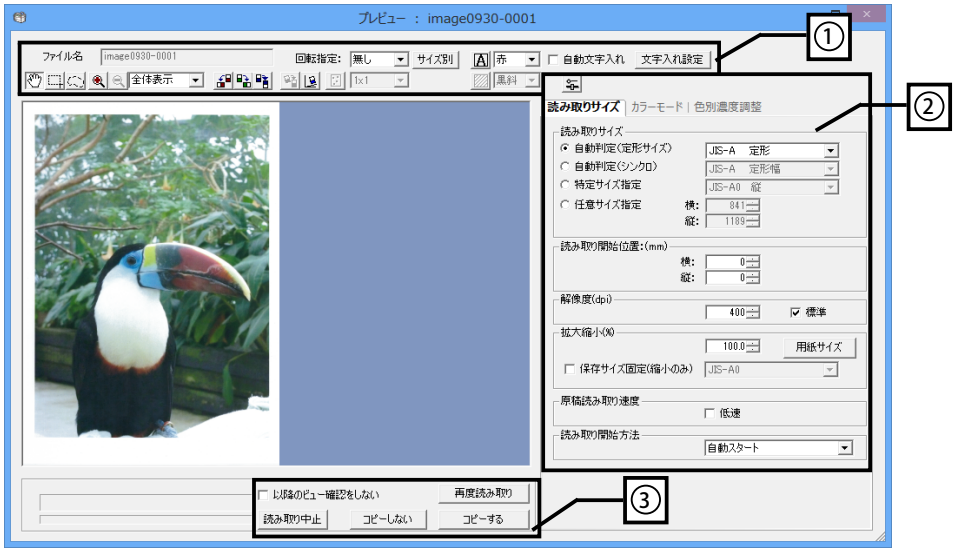
「保存する」チェックありの場合、プリンターにコピーしたデータをファイルに保存します。

(5) 読み取る原稿がまだある場合は、スキャナ機器に次の原稿を読み込ませます。
読み取りを終了する場合は、「読み取り中止」ボタンをクリックして、読み取りを終了させます。

(6) 最後にプリントしたイメージを再度、印刷する場合は、「再コピー」ボタンをクリックします。

3.4.3 プレビュー

指定の Hot Folder へコピーする前に、読み取った原稿を表示します。
読み取ったイメージを印刷する前に、編集することができます。また、詳細設定の内容を変更したイメージを、再度原稿を読み取ることなく、取得することができます。



① ツールボタン / 画像編集機能

ファイル名：

プレビューで表示した画像を保存するファイル名を表示します。読み取り設定の「保存する」チェックありで、シングルページとして保存する場合、変更することが可能です。マルチページの場合、変更できません。
読み取り設定の「保存する」チェックなしの場合、無効です。

その他のツールボタン：

通常のプレビューと同じです。
詳しくは「DW-Scan III Service の取扱説明書」の「3.2.6 プレビューウィンドウ」を参照してください。

② 詳細設定パネル

通常のプレビューと同じです。
詳しくは「DW-Scan III Service の取扱説明書」の「3.2.6 プレビューウィンドウ」を参照してください。

③読み取り指示

コピーする：

読み取ったイメージをコピーします。
読み取り設定の「保存する」チェックありの場合、読み取った原稿をファイルに保存します。
ソートや逆順を指定した場合、「読み取り中止」により、今まで「コピーする」を選択したイメージを一括でコピーします。

コピーしない：

読み取ったイメージをコピーしません。
読み取り設定の「保存する」チェックありの場合でも、読み取った原稿をファイルに保存しません。
（ファイル名番号は進みません）

再度読み取り：

再度原稿を読み取らずに、詳細設定の内容を変更して再度読み取りができます。（ファイル名番号は進みません）

読み取り中止：

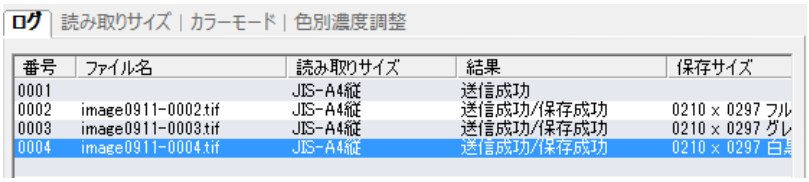
読み取りを中止します。
ソートや逆順を指定する場合、それまでに読み取ったイメージで「コピーする」を選択したイメージが、一括で指定の Hot Folder へコピーします。プレビュー表示中だったイメージはコピーされません。

以降のビュー確認をしない：

チェック時、以降の読み取りはプレビューウィンドウを表示しません。

3.4.4 ログリスト

原稿読み取り毎に、読み取りの結果が表示されます。
表示される結果は、番号、ファイル名、読み取りサイズ、結果、保存サイズ、傾き補正の有無、ゴミ取りの有無です。
ファイル名 / 結果 / 保存サイズは、保存設定の「保存する」チェックの有無によって、表示内容が異なります。
ファイル名 / 結果 / 保存サイズ以外は、通常の読み取りと同じです。



番号：
読み取りサイズ：
傾き補正：
ゴミ取り：

通常の読み取りと同じです。
詳しくは「DW-Scan III Service の取扱説明書」の「3.2.2 詳細設定パネル (ログパネル)」を参照してください。

ファイル名：

保存する場合：

保存したファイル名を表示します。

保存しない場合：

空欄表示になります。

結果：

Hot Folder への送信結果と、ファイルの保存結果を表示します。
送信結果には、「送信成功」、「送信失敗」、「送信保留」が表示されます。
保存結果には、「保存成功」、「保存失敗」が表示されます。

ファイルを保存する場合：

「送信結果 / 保存結果」を表示します。

ファイルを保存しない場合：

「送信結果」のみ表示します。

Note: 「ソート」や「逆順」を指定する場合、読み取り中のデータの送信結果は「送信保留」となります。「読み取り中止」ボタンにより、一括で送信し、送信結果を「送信終了」または「送信失敗」で更新します。

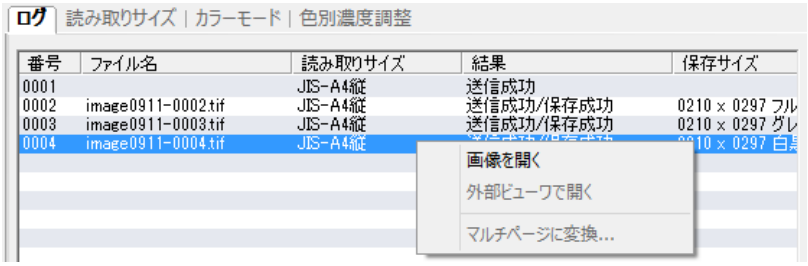
保存サイズ：

保存する場合：

保存したファイルのサイズを表示します。

保存しない場合：

空欄表示になります。



ログ表示のプリントが完了した行を右クリックすると、以下のメニューを表示します。

画像を開く：

保存した画像を選択した場合、有効です。

保存していない画像を選択したは場合、無効です。

外部ビューワで開く：

保存した画像を選択した場合、有効です。

保存していない画像を選択した場合、無効です。

マルチページに変換：

保存したファイルを複数選択していた場合、有効です。

Note: ファイルを保存した場合、正常に読み取りが終了したログのリストをダブルクリックすると画像イメージを表示することができます。

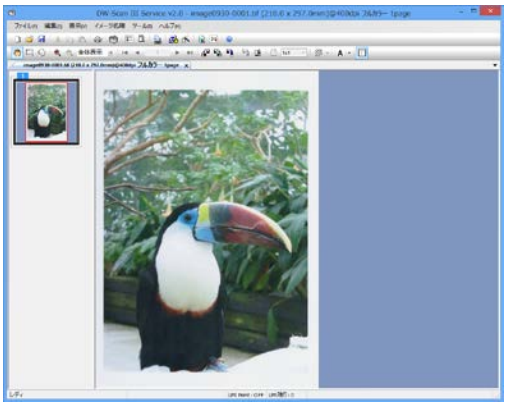
Note: ファイルを保存した場合、SHIFT キーを押しながらダブルクリックすると、環境設定で指定した外部ビューワによって画像イメージが表示されます。

Note: 「再コピー」を行った場合、ログリストは更新されません。

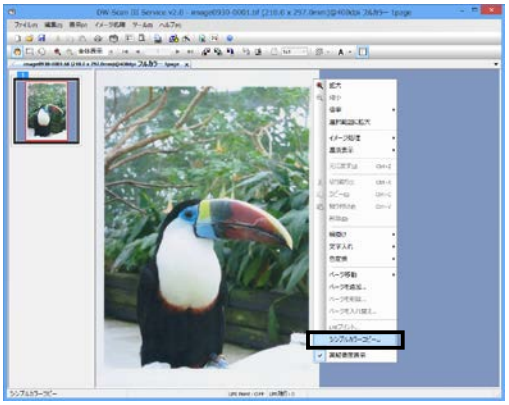
3.5 プリント

保存した画像ファイルのシンプルカラーコピー方法と、LPR プリントについて記述します。

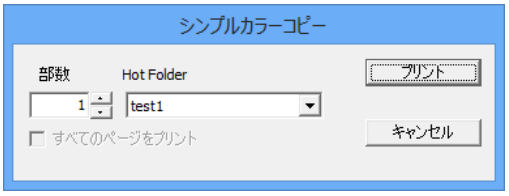
3.5.1 保存した画像ファイルをシンプルカラーコピーする



(1) 保存した TIFF/PDF/JPEG/XDW ファイルを開きます。



(2) 画像を表示しているウィンドウ上で右クリックし、「シンプルカラーコピー」を選択します。



(3) 「シンプルカラーコピー」ダイアログが表示されます。
部数、 Hot Folder を指定し、「プリント」ボタンをクリックすると、シンプルカラーコピーが行われます。

Note: 指定したカラープロファイルが適用された画像ファイルがコピーされます。

Note: マルチページファイルの場合、「すべてのページをプリント」をチェックし、「プリント」ボタンをクリックすると、すべてのページのシンプルカラーコピーが行われます。

3.5.2 LPR プリント

従来の LPR プリントの出力先に、LPR サーバーに加えて、「3.3.1 シンプルカラーコピー設定」で設定した Hot Folder を指定することができます。

LPR サーバー /Hot Folder には LPR 設定で設定した LPR サーバーのエイリアス名と、シンプルカラーコピー設定で設定した Hot Folder のエイリアス名が表示されます。

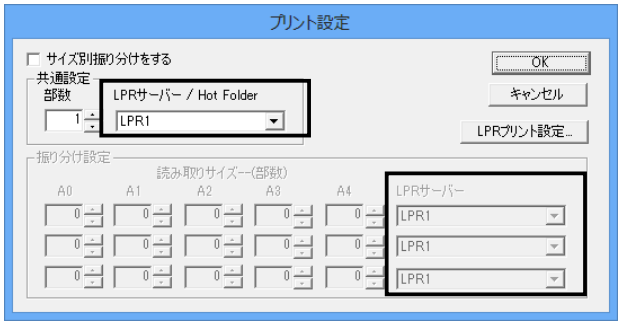
LPR プリントの出力先に LPR サーバーを指定した場合：
従来通り、LPR プリントが行われます。

LPR プリントの出力先に Hot Folder を指定した場合：
オーナー名は自動的に環境設定で指定された既定のオーナー名が設定されます。
カラーモードに関わらず、ソート / 逆順でのコピーはできません。
指定した Hot Folder の設定にカラーマネジメントがある場合、色補正したイメージが転送されます。

Note: 詳しくは「5.1.6 LPR プリントと Hot Folder」を参照してください。

Note: LPR プリントについては、詳しくは「DW-Scan III Service の取扱説明書」を参照してください。

(1) 「プリント設定」画面
従来の「読み取り設定」画面から、LPR プリントの「プリント設定」の印刷先に、Hot Folder を指定することができます。
サイズ別振り分けをする場合 / しない場合ともに、Hot Folder を指定することができます。

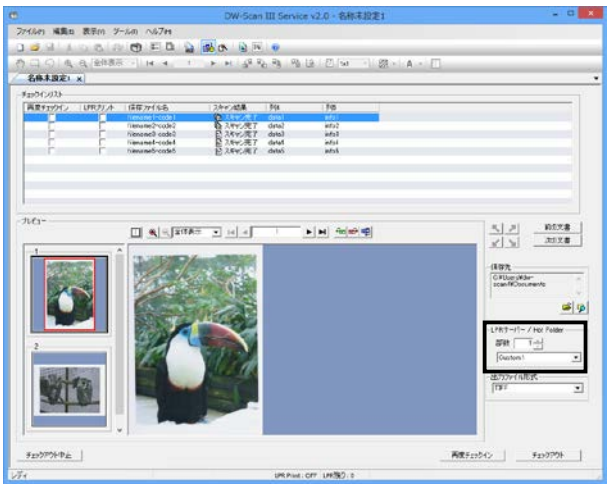


(2)「部数 / サーバを指定して LPR プリント」画面

保存した画像ファイルを LPR プリントする場合に、印刷先に、Hot Folder を指定することができます。

(3) CSV 連携 KIT

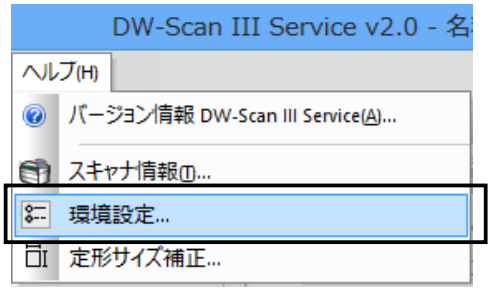
オプションの「CSV 連携 KIT」の読み取りの場合、チェックアウト画面で LPR プリントの印刷先に、Hot Folder を指定することができます。



3.6 環境設定

シンプルカラーコピーに関する DW-Scan III Service の環境設定について記述します。

3.6.1 シンプルカラーコピーの環境設定

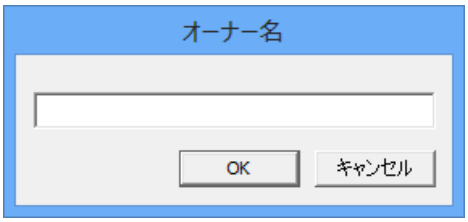


(1) 「ヘルプ」メニューの「環境設定」を選択します。

環境設定のウィンドウが表示されます。

① オーナー名 :

シンプルカラーコピーを実行する際に指定するオーナー名を設定します。
チェックボックスが ON になっているオーナー名が Hot Folder 転送時、既定のオーナー名として設定されます。



新規：

「新規」ボタンをクリックすると、「オーナー名」画面が表示されます。
新規オーナー名を入力します。

編集：

リストから変更したいオーナー名を選択し、「編集」ボタンをクリックします。「オーナー名」画面が表示されます。
オーナー名を変更します。

削除：

リストから削除したいオーナー名を選択し、「削除」ボタンをクリックします。
オーナー名を削除します。

Note: オーナー名の初期値は使用しているコンピュータのログイン名が 1 つだけ入ります。

Note: オーナー名は最大 100 まで追加可能で、最低 1 つ指定されている必要があります。

Note: 全てのオーナー名を削除することはできません。

Note: オーナー名は、半角 32 文字 (全角で 16 文字) まで入力することができます。

② 画質モード：

読み取り設定のカラーモードがグレースケール / フルカラーの場合にスキャナからのイメージデータ転送を「速度優先にする」かどうか、指定します。

「速度優先」がチェックあり場合：

スキャンしたデータは圧縮した JPEG 形式でスキャナからデータ転送されます。

「速度優先」がチェックなしの場合：

スキャンしたデータは RAW 形式でスキャナからデータ転送されます。速度よりも画質が優先されます。

Note: 画質を優先する場合、スキャナから転送されるデータのサイズは速度を優先する場合と比べ大きくなります。
このため、画質優先の場合、原稿サイズや解像度によって、ファイルに保存できない場合があります。

③ OK：

設定を更新し、画面を閉じます。

④ キャンセル：

設定を更新せず、画面を閉じます。

第 4 章 エラーメッセージ

4.1　エラーメッセージ一覧

4.1 エラーメッセージ一覧

4.1.1 インストール

◆サポート対象外の OS です。

◆ C842KIT は 32 ビット OS に対応していません。

［対処］
サポート対象外の OS へはインストールできません。
対応する OS については「1.2.1 必要な機器」を参照してください。

◆ DW-Scan III Service 2.0 がインストールされていません。

［対処］
DW-Scan III Service がインストールされていません。または、インストール済みの DW-Scan III Service のバージョンと、C842 KIT のバージョンが一致していません。C842 KITを使用する場合、使用可能なDW-Scan III Serviceのバージョンは 2.0 または 2.1 です。該当の DW-Scan III Service をインストール後、C842 KIT をインストールしてください。

4.1.2 キャリブレーションウィザード

◆キャリブレーション処理に失敗しました。ディスクの空き容量が不足しています。

［対処］
システムディスクの空き容量が不足しています。ディスク内の不要なファイルがあれば削除してください。

◆キャリブレーション処理に失敗しました。テストチャートのマーカーが認識できませんでした。

［対処］
テストチャートの読み取りにて、マーカーが認識できませんでした。
テストチャートのマーカー部に汚れや破損があった場合や、挿入した原稿の向きが間違っていた場合、原稿読み取り部のプラテンガラスやプラテンローラーが汚れている場合に発生します。
テストチャートの汚れや破損がないことの確認、及び原稿読み取り部の清掃後、再度、読み取りを行ってください。

◆キャリブレーション処理に失敗しました。テストチャートの読み取りが傾いています。

［対処］
テストチャートの読み取りにて、テストチャートが斜めにスキャナに挿入されました。テストチャートが斜めにならないよう、再度、読み取りを行ってください。

◆キャリブレーション処理に失敗しました。テストチャートの保存に失敗しました。

［対処］
システムディスクの空き容量が不足しています。ディスク内の不要なファイルがあれば削除してください。
ディスクが破損していないか、ディスクチェックを実施してください。

◆キャリブレーション処理に失敗しました。プロファイル作成処理が異常終了しました。

［対処］
もう一度、読み取りを開始してキャリブレーション処理を行ってください。
改善しない場合は、テストチャートのプリントからやり直してください。

◆キャリブレーション処理に失敗しました。メモリが不足しています。

［対処］
メモリの空き容量が不足しています。不要なアプリケーションがあれば終了させてください。
メモリ不足が頻発する場合、メモリの増設を行ってください。

◆テストチャートのプリントに失敗しました。
Hot Folder サーバーにテストチャートを転送できません。

［対処］
ネットワークが接続していることを確認してください。
指定の Hot Folder サーバーの設定が正しいことを確認してください。
セキュリティソフトによって、アクセスが禁止されていないか確認してください。

◆テストチャートのプリントに失敗しました。
Hot Folder サーバーに接続できません。

［対処］
ネットワークが接続していることを確認してください。
指定の Hot Folder サーバーの設定が正しいことを確認してください。
セキュリティソフトによって、アクセスが禁止されていないか確認してください。

4.1.3 カラープロファイル

◆カラープロファイルの作成に失敗しました。テストチャート計測結果が不正確です。

［対処］
もう一度、読み取りを開始してキャリブレーション処理を行ってください。
改善しない場合は、テストチャートのプリントからやり直してください。

◆カラープロファイルの削除に失敗しました。カラープロファイルの保存先を確認してください。

［対処］
ディスクが破損していないか、ディスクチェックを実施してください。

◆カラープロファイルの複製に失敗しました。ユーザーカラープロファイル保存先の空き容量を確認してください。

［対処］
システムディスクの空き容量が不足しています。ディスク内の不要なファイルがあれば削除してください。
ディスクが破損していないか、ディスクチェックを実施してください。

◆カラープロファイルの保存に失敗しました。ユーザーカラープロファイル保存先の空き容量を確認してください。

［対処］
システムディスクの空き容量が不足しています。ディスク内の不要なファイルがあれば削除してください。
ディスクが破損していないか、ディスクチェックを実施してください。

◆カラープロファイル名が不正です。ファイル名に使用できない文字は指定できません。

［対処］
カラープロファイル管理にてプロファイルを登録する場合、プロファイル名称をファイル名とするファイルを内部的に作成し保持します。
ファイル名として使用できない文字 (\ / : ; , * ? " < > | ¥ ~) をプロファイル名称に指定することができません。使用できない文字を省いて指定してください。

4.1.4 シンプルカラーコピー

◆RIP SWの設定ファイルが見つかりません。RIP SWの設定を確認してください。

［対処］
ネットワークが接続していることを確認してください。プロットサーバーの管理者に連絡し、指定の Hot Folder 内に RIP SW の設定ファイル (medias.xml) があるかを確認してください。
コピー時に表示された場合は、別のプロファイルを設定して、再度、実行してください。

◆現在のカラーマネジメント設定が RIP SW に見つかりません。RIP SW の設定を確認してください。

［対処］
カラーマネジメントに指定した RIP SW の設定ファイル (medias.xml) 中に、指定のプロファイルの設定が見つかりません。
プロットサーバーの管理者に連絡し、指定の Hot Folder 内の RIP SW の設定ファイル (medias.xml) の中に、指定のプロファイルがあるか確認してください。
コピー時に表示された場合は、別のプロファイルを設定して、再度、実行してください。

第 5 章 注意 / 制限事項

5.1　注意 / 制限事項

5.1 注意 / 制限事項

5.1.1 MS-DOS デバイス名

MS-DOS デバイス名 (con、aux、lpt、prn、nul、lpt1 ～ 9、com1 ～ 9) はファイル名として使用できません。
指定を行った場合は「指定されたファイル名は、MS-DOS デバイス名です。
MS-DOS デバイス名は、予約語であり、ファイル名として使用できません。」
とエラーメッセージが表示され保存を行う事が出来ません。

5.1.2 「DW-Scan III Service」のバージョンについて

C842 KIT Version 1.0 をインストールする前に、DW-Scan III Service Version 2.0 または 2.1 をインストールしてください。
DW-Scan III Service Version 1.0/1.1 がインストールされている場合、C842 KIT Version 1.0 はインストールできません。

5.1.3 DocuWide C842 への印刷

DocuWide C842 への印刷は、他のエンジニアリングプリンターのように、LPR プロトコルや FTP プロトコルによって、データを直接プリンターへ送信して印刷することはできません。
プロットサーバーの RIP SW を経由して行う必要があります。
C842 KIT では、Hot Folder へデータを転送することにより、RIP SW から DocuWide C842 への印刷を実現しています。

C842KIT から DocuWide C842 へシンプルカラーコピーする場合、用紙方向の指定はできません。給紙装置は自動で選択されます。

DocuWide C842 で印刷可能なサイズは次の通り。
最大幅：42inch(1066.8mm)
最大長：
ロール紙：5m(用紙種類関係なし)、保証外：30m
手差し： 2m(用紙種類関係なし)

ただし、DW-Scan III Service の最大幅 / 最大長が優先されます。

5.1.4 保存したファイルの印刷

保存したファイルを DocuWide C842 へ印刷する場合、保存フォーマットやサイズによって印刷できない場合があります。

5.1.5 カラーマネジメントが適用される場合

シンプルカラーコピーにカラーマネジメントが適用されるのは、フルカラー画像の場合です。
白黒画像、赤黒画像、グレースケール画像はカラーマネジメントは適用されません。

LPR プリントの出力先に、カラーマネジメントが設定された Hot Folder を指定した場合も、同様に、フルカラー画像の場合はカラーマネジメントが適用され、DocuWide C842 から、色補正されたデータが出力されます。
白黒画像、赤黒画像、グレースケール画像の場合、カラーマネジメントの指定があっても、カラーマネジメントは適用されません。DocuWide C842 から色補正のないデータが出力されます。

LPR プリントの出力先に、カラーマネジメントがない Hot Folder を指定した場合は、画像の種類に関わらず、カラーマネジメントは適用されません。DocuWide C842 から、色補正のないデータが出力されます。

シンプルカラーコピー設定		画像種類			
カラーマネジメント	カラーモード	白黒	赤黒	グレースケール	フルカラー
なし	ー	×	×	×	×
あり	カラー	×	×	×	○
	白黒	×	×	×	×

(○：適用あり、×：適用なし)

C842 KIT 既存または C842 KIT で作成したプロファイルを指定した場合、色補正は、C842 KIT にて行われます。

RIP SW で作成したプロファイルを指定した場合、C842 KIT で色補正を行いません。Hot Folder へ転送したデータを基に RIP SW 側で色補正が行われます。

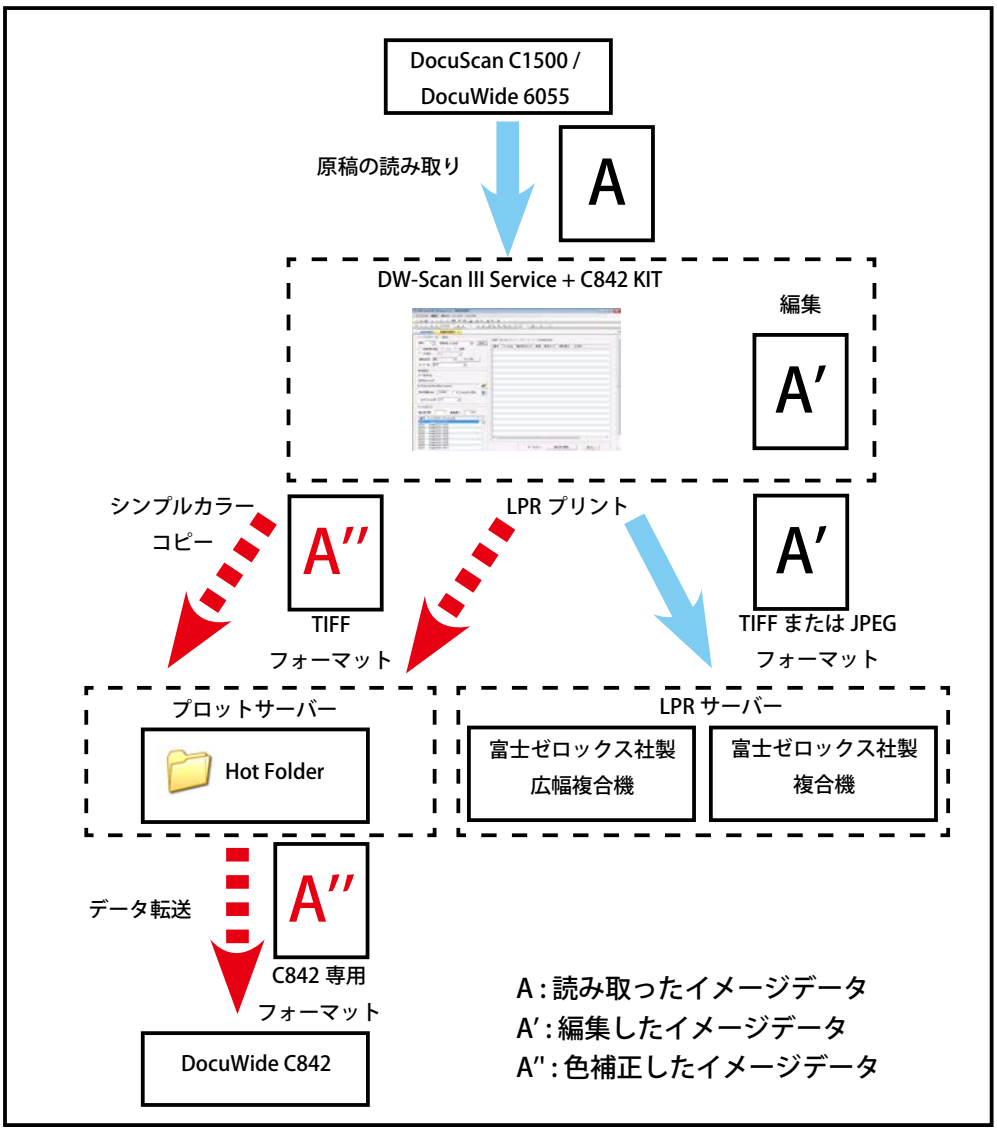
詳しくは、「5.1.6 LPR プリントと Hot Folder」を参照してください。

5.1.6 LPR プリントと Hot Folder

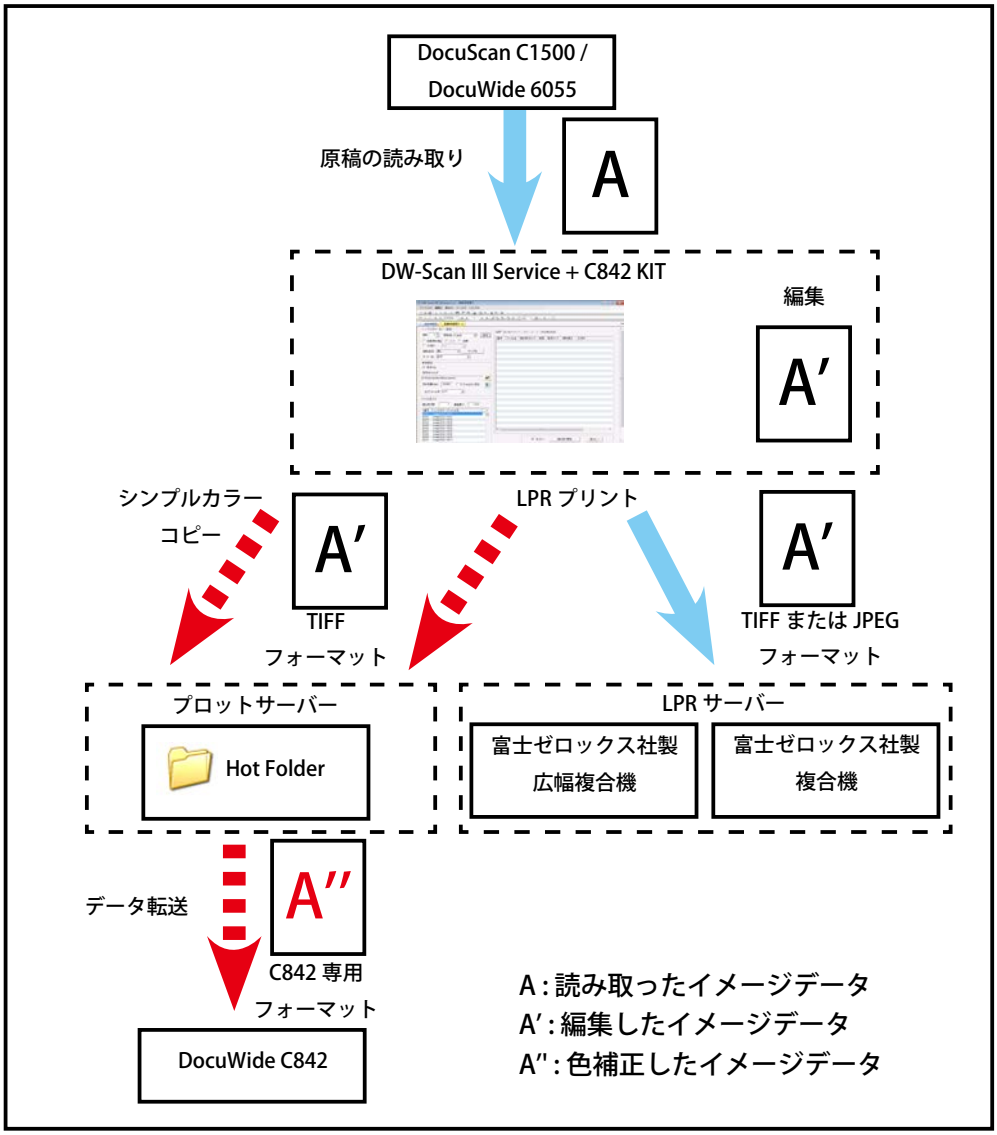
C842 KIT により、LPR プリントの出力先に、Hot Folder へのコピーが追加されます。LPR サーバーへ出力するときと Hot Folder へ出力するときの違いは、カラーマネジメントを適用するかしないかです。

(1) カラーマネジメントを適用する場合
LPR プリントの印刷先に指定した Hot Folder の設定にカラーマネジメントがある場合、カラープロファイル適用後、色補正した画像データを出力します。

(a) C842 KIT 既定または C842 KIT で作成したカラープロファイルの場合
色補正は、C842 KIT にて行われます。



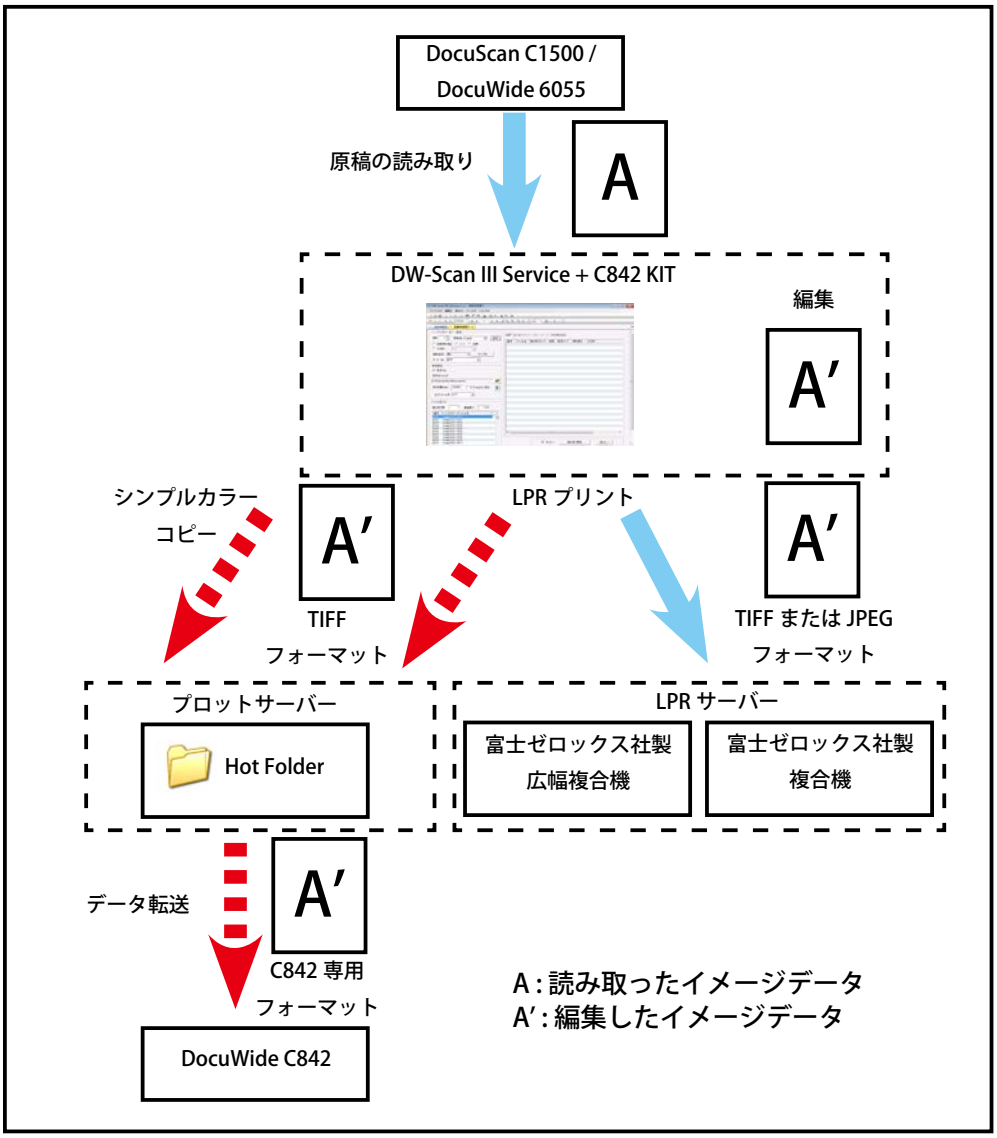
(b) RIP SW で作成したプロファイルの場合
色補正は、RIP SW 側で行われます。



Note: RIP SW で作成されたプロファイルの情報は、プロットサーバー内に保存されています。RIP SW のカラープロファイルは、C842 KIT では変更できません。

Note: カラーマネジメントが適用されるのは、フルカラー画像に限ります。

(2) カラーマネジメントを適用しない場合
LPR プリントの印刷先に指定した Hot Folder の設定にカラーマネジメントがない場合、読み取ったイメージをそのまま出力します。
カラーマネジメントが指定されていた場合でも、白黒画像、赤黒画像、グレースケール画像は色補正されず、読み取ったイメージをそのまま出力します。



索引

アルファベット

D

DocuScan C1500 2,3,16,54,55,56
DocuWide 6055..... 2,3,16,54,55,56
DocuWide C842.....2,3,16,52,54,55,56

H

Hot Folder .....
17,23,24,27,32,37,39,40,41,43,48,50,52,
53,54,56

J

JPEG 形式.....44

L

LPR プリント 39,40,53,54,56

M

MS-DOS デバイス名 52

R

RAW 形式.....44
RIP SW で作成したプロファイル .....
24,25,26,55
RIP SW の IP アドレス 17,24
RIP SW 50,52,55

W

Windows 7.....5
Windows 8.....5
Windows 8.1 5
Windows Server 2003 R2 5
Windows Server 2008 R2 5
Windows Vista.....5

かな

あ

アンインストール 10,11,12,14

い

インク節約.....25
インストール.....8,9

え

エイリアス名.....23,24,27,32
エラーメッセージ 46

お

オーナー名..... 29,43

か

カラー (CMYK) 25
カラー (RGB) 25
カラープロファイル .....
16,20,21,22,23,24,48,49,54,55
カラープロファイル管理.....21
カラーマネジメント .....
23,24,32,50,53,54,55,56
カラーモード..... 25,53
画質モード.....44
環境設定.....42

き

キャリブレーション 2,16,19,20,46
キャリブレーションウィザード.16,17,21,46
既定プロファイル 22,24
逆順.....28,36,37,40

こ

コピー.....29,50,54
コピーしない.....36

コピーする.....36
ゴミ取り.....29

さ

サイズ別回転指定 29
再コピー.....32,34,38
再度読み取り.....36

し

システム管理者 8,12
シンプルカラーコピー .....
2,3,23,24,27,33,39,40,42,43,50,53
シンプルカラーコピー設定 23,27
自動傾き補正.....29
自動選択.....25
白黒.....25

す

スタックトレイ 25
すべてのページをプリント 39

そ

ソート.....28,36,37,40
速度優先.....44

て

テストチャート 16,18,46,48

と

トレイに排出しない 25
トレイに排出する 25

ふ

プリント.....39
プリント設定.....40
プレビュー..... 31,35
プロファイル.....47
部数 / サーバを指定して LPR プリント 41
部数.....27

ほ

保存する.....29

ゆ

ユーザーアカウント制御 8,12

よ

読み取り開始.....28,31,34
読み取り中止..... 28,31,34,36
用紙種類..... 20,22,23,24